

一般社団法人日本母乳バンク協会活動報告 (2017年設立後)

2018年に入り、各地からドナーミルクを提供してほしいという連絡が入るようになりました。これまでに9施設、現在も7施設でドナーミルクが使われています。また、3施設が倫理委員会申請準備中です。

ウェブからのドナー登録申し込み自体は30名ありました。北海道や大阪の母親からも申し込みいただきましたが、現状は豊洲でのみ面接を行っているため、最終登録にいたっておりません。また、現状では母乳バンクのキャパシティの面から東京在住の方でもお断りすることもあります。母乳バンクの活動に関心が高まっていることを実感しております。

また、ドナーミルクを使った多施設共同研究(ADVANCE study)も始まっています。今年6月にはLucas教授をお招きして、昭和大学江東豊洲病院にて第一回母乳バンクカンファレンスも開催しました(プログラムは最後にあります)。

日本各地のNICUで”母乳が得られない超早産児”に当協会のドナーミルクを利用して元気に退院していったという学会発表・連絡もいただいております。これから生まれてくる小さな命のためにも、この活動は継続しなければなりません。
何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

<https://jhmba.or.jp/active.php>

母乳を必要とする小さな命に
個人・法人からの寄付をお願いしています



一般社団法人日本母乳バンク協会 構成メンバー

理事

水野克己 日本母乳哺育学会理事長 昭和大学医学部小児科学講座 主任教授

丸山 淳 経営コンサルタント

櫻井基一郎 昭和大学江東豊洲病院 小児内科講師

三谷幸之介 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター遺伝子治療部門 教授

若松美洋 看護師

監事

仁志田博司 東京女子医科大学 名誉教授

専門委員

五十嵐隆 成育医療研究センター総長

板橋家頭夫 昭和大学病院長

金子淳子 山口県小児科医会副会長

楠田聡 杏林大学小児科教授

堺武男 赤ちゃん成育ネットワーク会長

関沢明彦 昭和大学医学部産婦人科講座 主任教授

藤井知行 日本産婦人科学会理事長 東京大学産婦人科学講座 教授

和田和子 大阪母子医療センター新生児科主任部長



ドナー登録・提供された母乳量

ドナー登録は計22名(NICUに児が入院している母親13名、ウェブから申し込みのあった母親9名)。提供された母乳量は279ℓでした。実際に低温殺菌処理した母乳量は107ℓです。母親の薬剤使用、異物混入、期限切れ、細菌検査結果などにより使用不可と判定し破棄した母乳量は107.9ℓありました。

ドナーミルク提供先と提供量(2018年)

昭和大学 1200ml

昭和大学江東豊洲病院 使用量14233ml

奈良県立医大 19790 ml

聖隷浜松病院 7640 ml

埼玉医大総合医療センター 6300 ml

都立総合小児医療センター 5820 ml

成育医療研究センター 800 ml

総計54.7ℓ

学会・講演会発表(2018年)

鈴木学 フローサイトメトリーによるパストツール化したドナーミルク中の残存細胞の解析 昭和学士会 2月

水野克己 特別講演:母乳バンクについて 赤ちゃん成育ネット 3月 東京

水野克己 一般口演:母乳バンクの使用(運用)経験 小児科学会 4月 福岡

櫻井基一郎 水野克己 一般口演:真空凍結乾燥法を用いた人乳による母乳強化物質の作成 母乳哺育学会 9月

白井智美 母乳の低温殺菌処理前後における脂肪酸組成の解析 母乳哺育学会 9月

若菜真実 冷凍温度の違いが母乳中の細胞に与える影響 母乳哺育学会 9月

岩佐太一郎 母乳の低温殺菌処理前後の成分変化について 母乳哺育学会 9月

水野克己 特別講演:乳房文化研究会 母乳バンクの普及と課題 10月 京都

水野克己 合同教育講演:母乳(人乳)栄養の利点母乳バンクの効果的な利用について 新生児成育医学会 11月

水野克己 櫻井基一郎 一般口演:母乳バンクに提供された母乳中細菌数の検討新生児成育医学会 一般演題 11月

水野克己 特別講演:日本の母乳バンク:過去、現在、そして未来へ 北海道教室 11月

他施設からの発表

2018年日本周産期新生児医学会

第3日目 一般演題 口演発表

乳汁分泌不全のためドナーミルクを使用した超低出生体重児の双胎例
沖縄県立宮古病院 杉田さおり先生

2018年日本新生児成育医学会

第1日目 一般演題 口演発表

胎児発育不全を伴った超低出生体重児に対してドナーミルクを用いた経験

埼玉医科大学総合医療センター 松村峻先生

論文(2017-2018年)

水野克己 母乳バンクの有用性と課題 小児科 2018;59:321-325

水野紀子 水野克己 授乳支援機器 電動搾乳器と母乳分析 周産期医学 2018;48:735-738

鈴木学、池田裕一、若林和代、水野克己、磯山恵一 フローサイトメトリーによるパストツール化したドナーミルク中の残存細胞の解析 日本周産期新生児医学会誌 2018;54:28-32

櫻井基一郎 水野克己 真空凍結乾燥法を用いた人乳による母乳強化物質の作成 母乳哺育学会誌 2018;12(2):

櫻井基一郎 佐々木寛 井川三緒 他 極低出生体重児におけるドナーミルクの使用経験 周産期新生児医学会誌 2017;53:1019-1024

櫻井基一郎 水野克己 NICUでの母乳育児支援 母乳バンクについて 母乳哺育学会誌 2017;11:61-66

櫻井基一郎 母乳バンクに関する最新トピック Neonatal Care 2017;30:702-706

水野克己 母乳保存用バッグでの長期冷凍保存に関する検討 Neonatal Care 2017;30:192-196

水野克己 母乳の凍結乾燥処理に関する検討 母乳哺育学会誌 2016;10:108-112

水野克己 周産期医学必修知識 母乳バンク 周産期医学 2016;46増刊:923-925



Lucas教授と水野

19th ISRHML開催(逗子:学会長 水野克己)

第一回母乳バンクカンファレンス 平成30年6月

プログラム

10:45 - 12:15 The benefit of EHMD on very premature infants : Professor Alan Lucas (University College London, Childhood Nutrition Research Centre)

12:15 -13:15 Launch on seminar - The status report of Human Milk Banking in Japan (in Japanese) : Professor Katsumi Mizuno (Showa University School of Medicine)

13:30 - 14:45 Safety Issues on Human Milk Banking -donor selection, safety and DNA matching of donor and donation, and other safety issues, i.e. traceability, CMV issues : Mr. Scott Eaker (Prolacta Bioscience Co.Ltd.)

14:45 - 15:45 human milk benefits in general population : Professor Alan Lucas (University College London, Childhood Nutrition Research Centre)

16:00-16:30 Our experience on HMB for three years (in Japanese) : Assistant Professor Motoichiro Sakurai (Showa University KotoToyosu Hospital)

16:30-17:15 Where are we going - is EHMD possible in Japan? (in Japanese) : Katsumi Mizuno (Showa University School of Medicine)